

目標達成計画

作成日：平成22年12月25日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアを、すべての職員がしっかりと理解しているかと言われれば、しっかりと理解している職員より、概ねしている職員の方が多く、適切な声かけができてないところもあるように思います。すべての職員がしっかりと理解するとともに実践において適切なケアをしていく必要あり。	・すべての職員が身体拘束の意味をしっかりと理解する。 ・すべての職員が、身体拘束をしないケアを実践できるようになる。	身体拘束における外部研修があれば参加する。また内部研修会を早急に開催。その中で、事例を交えながら、特に行動制限について検討する。内部研修会を振り返り、ユニットごとに会議を開催。実践できたかどうかを確認する。リーダーより実践できてないものは個別指導行う。次の全体会議にて確認。完了。	6ヶ月
2	34	急変や事故発生時の備えについて訓練は定期的に行っているが、新人職員等の実践力が充分でないところもある。	すべての職員が、急変時、応急手当や初期対応ができるようになる。	h22.10/29 消防署員のご指導により、人形を使った救命救急訓練を行いました。新人職員も参加し1度も受けていない職員はいなくなりました。施設内研修会において、急変時の対応を取り上げ、マニュアルに基づきながら、一人ずつ実践形式にてロープレを行ってもらい判断する。不安のある職員は、居残りのできるまでやる。	6ヶ月
3	23	思いや意向の把握についてアセスメントシートは担当職員が行っているが、複数の職員で協働記入するなど、チームアプローチを意識しながら活用し、把握した情報をより一層介護計画に反映させていく。	アセスメントシート記入についても協働作業ができ、思いや意向がしっかりとプランに反映されるようになる。	アセスメントシート記入時は担当スタッフが責任を持って記入するが、その際はできる限りリーダー含めユニットのスタッフに状態を確認しながら記入するようにする。またアセスメント記入時は、他者もいつでも記入できるように皆が閲覧できる場所に置くようにする。	6ヶ月
5	24	これまでの暮らしの把握について一人暮らしなどの場合は、親類や民生委員等の関係者などからもアセスメントシートを活用して情報収集をするなど、これまでの暮らしの把握に向けたさらなる取組み、また、アセスメントシートの記載方法に工夫が必要。	その方のとりまく環境、社会資源をできるかぎり活用する。アセスメントシートが一目で分かりやすく、これまでの暮らしが把握できる。	一人暮らしの方などは、入居前面接時にアセスメントシートを持参し家族、親類の方に記入してもらうように促す。または項目に沿って聞き取りを行い記入するようにする。全く状況が把握できない方は民生委員さんや町内会長さん、(担当ケアマネさん)からも生活状況の把握に努めるようにする。	6ヶ月